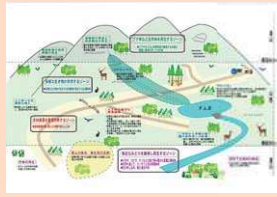


**本** 県の森林再生50年構想の現時点での状況をどのように評価しているのか。それを踏まえ、県民に今後30年の森林再生の取組をどのように示していくのか、見解を伺う。

**環境農政局長答弁**

この構想は、水源環境保全・再生施策大綱や丹沢大山自然再生基本構想など、本県の森林施策全体の方向性やめざす姿を、県民に分かりやすく示したもの。3つの取組の柱のうち、「広葉樹林の再生」「人工林から混交林への転換」「人工林の再生」については、順調に成果をあげている。現在、令和9年度以降の水源環境保全・再生施策について議論を進めているが、今後、他の計画等と整合を図りながら、本県の森林施策全体を分かりやすく示していく。



神奈川県HP  
「森林再生50年構想パンフレット」抜粋

**要望**

水源環境保全再生施策や丹沢大山の自然再生などによって、構想の示す森林再生の取組の成果は概ね順調とのことだが、里山などの荒廃はさらに進んでいるといった課題もある。森林再生への県民や企業等の関心を高め、協働にもつながる取組とすることを求める。

森林再生50年構想について

**相** 模湖、津久井湖における湖岸崩落対策について、今後どのように取り組んでいくのか、企業庁長に所見を伺う。

**企業庁長答弁**

平成20年代には30か所を超えていた崩落箇所が、現在は5か所にまで減少している。今後も、相模湖、津久井湖での巡視の頻度を高めることが重要。現在、津久井湖上流域において自動航行のドローンを活用した巡視を試行しているが、湖面利用者の多い場所での飛行については、安全上の課題がある。そこで、湖面利用者の多い相模湖などにおいては、無人自動航行ボートの導入を念頭に、実証実験の実施等について、国など関係機関との調整を進めていく。

**要望**

今後は、無人ボートやドローンなどの新しい技術も取り入れながら、効率的な監視を続け、また、県民に現在の湖岸の状況が分かりやすく伝える取組みを求める。



相模湖の湖岸崩落状況  
提供：企業庁

相模湖、津久井湖における湖岸崩落対策について

POSTCARD

お手数ですが  
85円切手をお貼りください

2 5 2 0 1 4 3

相模原市緑区橋本6-17-3  
広木ビル1階-2

小田貴久 事務所  
行

ご意見 ご要望	
お名前	フリガナ
ご住所	
連絡先	

お名前・ご連絡先をご記入いただくと幸いです。  
※いただいた個人情報は、細心の注意を払って適正厳正に管理します。



小田貴久の  
県政活動をお届け

- 1982年(昭和57年)4月9日生まれ。
- 相模原協同病院生まれ、西橋本出身。
- 橋本幼稚園(長友学園)、市立橋本小学校、市立旭中学校、県立相模原高校、中央大学法学部卒。
- 大和証券株式会社で資産コンサルタントを経験後、衆議院議員・もとむら賢太郎事務所秘書。
- 2011年4月 相模原市議会議員に当選。以降3期まで連続当選。
- 2023年4月 神奈川県議会議員に初当選。

【趣味】テニス、宝塚歌劇団などの舞台鑑賞  
【家族】妻(会社員)、娘、犬(ペキニーズ)



公式HP



公式LINE

小田貴久 政務活動事務所

〒252-0143 相模原市緑区橋本6-17-3 広木ビル1階-2  
TEL 042-703-8858 FAX 042-703-8859  
E-mail: sagamihara@oda-takahisa.net